

加賀市下水道事業経営戦略

令和3年3月

加 賀 市

【目 次】

1. 経営戦略策定の背景及び目的	3
1-1. 下水道事業を取り巻く環境	3
1-2. 経営戦略策定の経緯及び目的	4
1-3. 経営計画策定期間	4
2. 加賀市下水道事業の概要	5
2-1. 加賀市下水道事業計画諸元	5
2-2. 人口及び世帯数の推移	15
2-3. 加賀市下水道事業の現況	18
2-4. 民間活力の活用等	27
2-5. 経営比較分析表による評価	28
3. 将来の事業環境	29
3-1. 行政区域内人口の見通し	29
3-2. 下水道処理区域内人口の見通し	30
3-3. 投資計画	35
3-4. 水洗化人口の見通し	36
3-5. 下水道使用料の見通し	41
4. 経営の基本方針	44
5. 投資・財政計画の見通し	45
6. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	45

1. 経営戦略策定の背景及び目的

1-1. 下水道事業を取り巻く環境

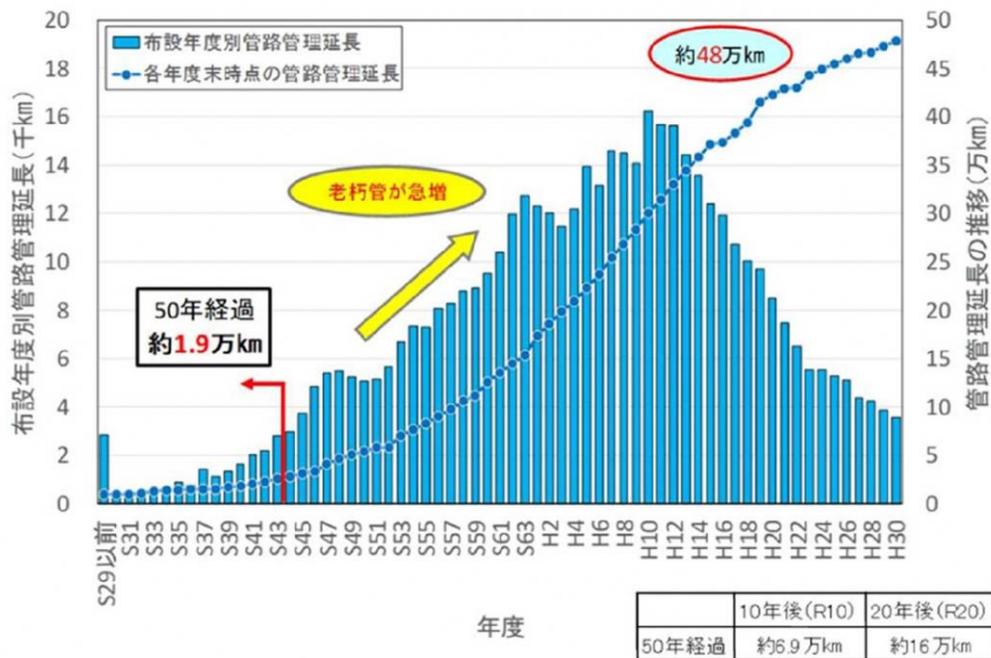
下水道は、住民の環境衛生の向上及び都市の健全な発展に寄与し、あわせて公共用水域の水質保全や浸水の防除に資するために欠かすことのできない公共性、公益性の高い都市基盤施設であります。

我が国の下水道は、高度経済成長期以降、都市化の進展や産業の急速な発達等に伴う衛生問題や水環境問題の解決のため、短期間で整備が進められてきた結果、平成30(2018)年度末の施設の総量は、下水道管が約48万km(地球約12周)、下水処理場が約2,200箇所にのぼります(平成30(2018)年度末 国土交通省資料より)。

今後は、施設の老朽化の進行により改築・更新需要が増加する一方で、人口減少等により収入の減少も見込まれ、下水道事業をめぐる事業環境は厳しさを増しつつあります。

また、施設の更新等を着実に進めるためには、適切な費用の把握や財源の確保が重要ですが、これまで多くの自治体の下水道事業は、官公庁会計方式により経理を行ってきたため、施設の老朽化や資金状況等の経営状況の把握・分析が困難であるという課題を抱えていました。

これらの課題に対応するため、総務省は、地方公営企業法に基づく「公営企業会計の適用」を促進するとともに、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図るため、令和2(2020)年度までに経営の基本計画である「経営戦略」の策定を要請して、課題への早期対応を推進しているところです。



1-2. 経営戦略策定の経緯及び目的

加賀市の下水道事業は、単独公共下水道の片山津処理区において、昭和 45(1970)年度に事業認可を受け、昭和 50(1975)年 10 月から供用開始しています。追って、昭和 63(1988)年度に流域関連公共下水道の大聖寺川処理区も事業着手し、また、農村部は農業集落排水事業等において順次下水道整備を行っております。

その中で、加賀市浄化センターは、供用開始から 45 年が経過しており、農業集落排水施設等の処理場についても、今後、老朽化により修繕費等の維持管理費が増加していくことが予想されます。また、管渠についても、新設及び改築の計画が見込まれていることから、今後、建設費が増加することになります。

このような状況の中、加賀市は下水道事業の経営基盤をより強固なものにするため、平成 29(2017)年度から公営企業会計に移行し、財政状況の見える化を図るとともに、健全で効率的な経営を実現するために中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定することとします。

本計画策定にあたっては、「第 2 次加賀市総合計画」、「新「加賀市」町づくり計画」、「下水道事業計画」等との整合性に留意します。

1-3. 経営計画策定期間

本経営戦略は、将来にわたり安定的に加賀市下水道事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画であり、令和 3(2021)年度から令和 12(2030)年度の 10 年間を計画期間とします。

また、「投資試算」や「財源試算」は、経営に不可欠な主要施設の維持更新の見通しを立てるため、施設の耐用年数等を踏まえて、計画期間に限らず可能な限り長期間(30~50 年超)で計画します。

2. 加賀市下水道事業の概要

2-1. 加賀市下水道事業計画諸元

加賀市下水道事業は、公共下水道事業(単独公共、流域関連)、農業集落排水事業(11 処理区)、小規模集合排水処理施設整備事業及び地域下水道事業と 4 事業により整備を行っています。それぞれの計画諸元は、以下に示すとおりです。

(1) 単独公共下水道事業(片山津処理区)

単独公共下水道事業で整備を行っている片山津処理区は、昭和 44(1969)年 5 月片山津温泉の大火を契機とし、復興のための街路事業に併せ、かねてより柴山潟の環境汚染防止対策を必要としていたことも相まって、直ちに基本計画策定に着手、翌 45(1970)年 5 月に同計画を立て、引続き同年 6 月に都市計画決定、8 月に事業認可を受け事業に着手しています。

本事業計画では、全体計画区域を 820ha から 472ha に縮小しており、これに伴い定住人口が 15,640 人から 8,490 人に減少し、計画汚水量についても 14,220m³/日最大から 7,740m³/日最大に減少させています。認可計画については、計画区域の変更は行われていませんが、近年の人口動態より定住人口が 10,070 人から 8,945 人に減少させています。但し、その他の水量として雨天時浸入水量を 6,175m³/日最大見込んでおり、見直し計画汚水量を 12,416m³/日最大としています。

なお、令和 2 年度末を目途に、後述する大聖寺川処理区と合わせて全体計画の見直し計画を策定中であり、公共下水道事業については、大きく変更される見通しとなっています。

表 2-1 単独公共下水道(片山津処理区)計画諸元一覧表

項目	種別	片山津処理区				摘要		
		全体計画		事業計画		全体計画	事業計画	
		既計画	見直し計画	既計画	見直し計画			
下水道計画目標年度		令和12年	令和35年	平成28年	令和5年	+13年	+7年	
計画面積 (ha)		820	472	352	352	△ 348	0	
行政区内人口 (人)		59,000	53,200	71,000	63,600	△ 5,800	△ 7,400	
計画人口 (人) (接続率考慮前)	定住人口	15,640	8,490	10,070	8,945	△ 7,150	△ 1,125	
	観光人口	1,370	1,640	1,230	1,408	270	178	
	計	17,010	10,130	11,300	10,353	△ 6,880	△ 947	
計画人口 (人) (接続率考慮)	定住人口	—	—	—	8,104			
	観光人口	—	—	—	1,408			
	計	—	—	—	9,512			
家庭汚水量 原単位 (L/人・日)	住居系	日平均	365	315	365	315	△ 50	△ 50
		日最大	485	415	485	415	△ 70	△ 70
		時間最大	730	625	730	625	△ 105	△ 105
観光汚水量原単位 (L/人・日)	日平均	1,730	920	1,730	920	△ 810	△ 810	
地下水原単位 (L/人・日)		70	60	70	60	△ 10	△ 10	
計画汚水量 (m ³ /日) (H34接続率考慮)	家庭汚水量	日平均	5,708	2,675	3,667	2,553	△ 3,033	△ 1,114
		日最大	7,586	3,524	4,884	3,363	△ 4,062	△ 1,521
		時間最大	11,419	5,307	7,351	5,065	△ 6,112	△ 2,286
	地下水		1,095	509	705	486	△ 586	△ 219
	観光汚水量	日平均	2,370	1,510	2,130	1,295	△ 860	△ 835
		日最大	3,790	2,230	3,410	1,916	△ 1,560	△ 1,494
		時間最大	5,690	2,930	5,110	2,510	△ 2,760	△ 2,600
	工場排水量	日平均	1,100	476	380	476	△ 624	96
		日最大	1,100	476	380	476	△ 624	96
		時間最大	2,200	952	760	952	△ 1,248	192
	その他の汚水量	日平均	420	—	—	2,019	△ 420	2,019
		日最大	650	—	—	6,175	△ 650	6,175
		時間最大	990	—	—	12,467	△ 990	12,467
	計	日平均	10,690	5,170	6,890	6,829	△ 5,520	△ 61
		日最大	14,220	7,740	9,380	12,416	△ 6,480	3,036
時間最大		21,390	11,420	13,930	21,480	△ 9,970	7,550	
汚濁負荷量 原単位 (g/人・日)	BOD	生活	58	58	58	58		
		営業	12	17	12	17	5	5
		観光	303	193	303	193		△ 110
	SS	生活	45	45	45	45		
		営業	8	14	8	14	6	6
		観光	199	129	199	129	△ 70	△ 70
汚濁負荷量 (kg/日)	BOD	家庭	1,118	637	806	608	△ 481	△ 198
		観光	415	317	373	272	△ 98	△ 101
		工場	340	29	118	29	△ 311	△ 89
		その他	84	—	—	0	△ 84	0
	SS	家庭	842	501	610	478	△ 341	△ 132
		観光	273	212	245	182	△ 61	△ 63
		工場	306	38	106	38	△ 268	△ 68
		その他	64	—	—	0	△ 64	0
計画流入水質 (mg/L)	BOD	180	190	171	133	10	△ 38	
	SS	137	145	126	102	8	△ 24	
設計流入水質 (mg/L)	BOD	180	202	189	141	22	△ 48	
	SS	137	170	154	119	33	△ 35	

資料：加賀公共下水道事業計画変更協議申出書(片山津処理区)_平成 28 年度

表 2-2 加賀市浄化センター概要

項目	諸元値	備考
位置	加賀市潮津町	
敷地面積	2.62ha	
処理方法	標準活性汚泥法	
処理能力	17,440m ³ /日最大	
計画放流水質	BOD:15mg/L	
計画処理人口	9,600人 (1,400人)	定住人口は、水洗化考慮 ()書きは観光人口
計画流入水量	12,500m ³ /日最大	
汚泥処理方式	濃縮→脱水→場外搬出	場外搬出後セメント化、堆肥化

表 2-3 ポンプ施設及び貯留施設概要(片山津処理区)

名称	項目	諸元値	備考
片山津中継ポンプ場	位置	加賀市片山津町乙及び片山津温泉乙	
	敷地面積	0.05ha	
	区分	分流汚水	
	揚水量	9.8m ³ /分	
	揚水能力	5.8m ³ /分×3台	3/3、内1台予備
湖畔公園ポンプ場	位置	加賀市潮津町イ	
	敷地面積	0.005ha	
	区分	分流雨水	
	揚水量	108m ³ /分	
	揚水能力	0.60m ³ /秒×3台	3/3
憩いの広場ポンプ場	位置	加賀市片山津温泉ア	
	敷地面積	0.005ha	
	区分	分流雨水	
	揚水量	86m ³ /分	
	揚水能力	0.72m ³ /秒×2台	2/2
湯の元公園ポンプ場	位置	加賀市片山津温泉乙及び片山津町乙	
	敷地面積	0.029ha	
	区分	分流雨水	
	揚水量	150m ³ /分	
	揚水能力	1.00m ³ /秒×2台、0.25m ³ /秒×2台	4/4
温泉1区雨水調整池	位置	加賀市片山津町ツ	
	計画貯留量	約7,900m ³	流出抑制

(2) 流域関連公共下水道事業(大聖寺川処理区)

流域関連公共下水道事業で整備を行っている大聖寺川処理区は、昭和54(1979)年度から大聖寺・山代・作見地区の既成市街地とその周辺地区、更に山中町を含めた広域下水道整備の検討をすすめて、昭和63(1988)年10月、石川県を事業主体として加賀・山中の大聖寺川流域を一体的に整備する『加賀沿岸流域下水道(大聖寺川処理区)』及び『関連公共下水道』の認可を受け、平成元(1989)年度から事業に着工、県事業による処理場・幹線管渠の築造に併せて国庫補助を積極的に活用し面整備を進め、平成7(1995)年12月には大聖寺川浄化センターの通水式と共に供用開始しています。

大聖寺川浄化センター及び流域幹線は、石川県において施工・維持管理をされていますが、令和6年に石川県から加賀市に移管される予定です。

さらに、令和2年度の全体計画見直しにおいて、前出(1)の片山津処理区についても、将来的には大聖寺川処理区と統合し、加賀市浄化センター(の一部)は廃止する計画があります。

表 2-4 流域関連公共下水道(大聖寺川処理区)計画諸元一覧表

項目		全体計画			事業計画			備考	
計画年次		目標年次：令和12年			事業年次：令和6年度				
行政区域内人口(人)		59,000			62,930				
処理区域名		大聖寺川処理区							
下水道の種類		流域関連公共下水道事業							
下水の排除方式		分流式							
計画区域面積(ha)		1,470.0			725.8				
計画人口(人)	定住人口		38,300			26,790			水洗化人口：23,320人
	観光人口	山代温泉	3,290			2,270			
		山中温泉	2,050			1,320			
		計	5,340			3,590			
計		43,640			30,380				
家庭汚水量原単位(L/人・日)		日平均	日最大	時間最大	日平均	日最大	時間最大		
	生活	260	325	490	240	300	450	時間変動比=0.8:1.0:1.5	
	営業	105	130	200	75	90	135	営業用水率：全体40%、事業30%	
	地下水	50	50	50	40	40	40	日最大の10%	
計		415	505	740	355	430	625		
観光汚水量原単位(L/人・日)		日平均	日最大	時間最大	日平均	日最大	時間最大		
	山代温泉	1,000	1,400	2,100	930	1,302	1,953	時間変動比=1.0:1.0:1.5	
	山中温泉	1,250	1,875	2,813	1,250	1,875	2,813	時間変動比=0.8:1.0:1.5	
計画汚水量(m ³ /日)		日平均	日最大	時間最大	日平均	日最大	時間最大		
	生活	9,958	12,447	18,768	6,429	8,037	12,057		
	営業	4,022	4,979	7,660	2,009	2,411	3,617		
	工場	880	880	1,760	36	36	72		
	観光	山代温泉	3,290	4,606	6,909	2,111	2,956	4,434	
		山中温泉	2,563	3,845	5,768	1,650	2,475	3,713	
	計	5,853	8,451	12,677	3,761	5,431	8,147		
	地下水	1,915	1,915	1,915	1,072	1,072	1,072		
計	22,628	28,672	42,780	13,307	16,987	24,965			
	→22,630	→28,680	→42,780	→13,310	→16,990	→24,970			
計画水質(mg/L)	項目	流入水	放流水	項目	流入水	放流水			
	BOD	183	—	BOD	197	—			
	SS	135	—	SS	139	—			

表 2-5 ポンプ施設概要(大聖寺川処理区)

名称	項目	諸元値	備考
錦城大橋 汚水中継ポンプ場	位置	加賀市大聖寺岡町	
	敷地面積	2.60a	
	区分	分流汚水	
	揚水量	3.0m ³ /分	
	揚水能力	2.5m ³ /分×2台、4.0m ³ /分×台	4.0m ³ /分は予備
下谷中継ポンプ場	位置	加賀市山中温泉下谷町	
	敷地面積	1.0a	
	区分	分流汚水	
	揚水量	1.1m ³ /分	
	揚水能力	1.1m ³ /秒×2台	内、1台予備

注：上記ポンプ場以外に、松が丘中継ポンプ場が受贈資産として現存しています。

(3) 農業集落排水事業

本市では、11 地区において農業集落排水事業で汚水処理を行っており、その概要は、表 2-6 に示すとおりとなっています。

表 2-6 農業集落排水事業計画概要(1/3)

項目	地区名	分校	新保	荒木	熊坂
新規採択要望年度		昭和 61(1986)年度	平成 2(1990)年度	平成 4(1992)年度	平成 5(1993)年度
供用開始年度		平成元(1989)年度	平成 4(1992)年度	平成 5(1993)年度	平成 7(1995)年度
該当集落		分校	新保	荒木	北原、庄司谷、畑岡、吉岡
処理施設名称		分校浄化センター	新保浄化センター	荒木浄化センター	熊坂浄化センター
処理施設敷地面積(m ²)		1,400	827	589	690
処理面積(ha)		53.0	17.0	4.2	21.7
計画人口(人)		1,680	530	90	420
計画戸数(戸)		252	107	26	84
計画日最大汚水量(m ³ /日)		554.0	174.9	29.7	139.0
計画流入水質 (mg/L)	BOD	200	200	200	200
	COD	100	100	—	—
	SS	200	200	200	200
	T-N	40	40	40	40
計画放流水質 (mg/L)	BOD	20	20	20	20
	COD	—	—	—	—
	SS	50	50	50	50
	T-N	—	—	—	—
処理方式		JARUS-Ⅲ型 流量調整槽前置型 嫌気性ろ床併用 接触ばっ気法	JARUS-Ⅲ型 流量調整槽前置型 嫌気性ろ床併用 接触ばっ気法	JARUS-I型 沈澱分離槽前置型 接触ばっ気法	JARUS-I型 沈澱分離槽前置型 接触ばっ気法
管路延長(m)		9,681	4,390	772	3,079
マンホールポンプ(箇所)		8	3	1	3

表 2-6 農業集落排水事業計画概要(2/3)

項目	地区名	柴 山	箱 宮	二子塚	奥 谷
新規採択要望年度		平成7(1995)年度	平成8(1996)年度	平成10(1998)年度	平成12(2000)年度
供用開始年度		平成9(1997)年度	平成12(2000)年度	平成14(2002)年度	平成14(2002)年度
該当集落		柴山、一白	箱宮	上野、森、二子塚	奥谷
処理施設名称		柴山浄化センター	箱宮浄化センター	二子塚浄化センター	奥谷浄化センター
処理施設敷地面積(m ²)		870	732	1,300	700
処理面積(ha)		34.0	25.0	25.0	3.7
計画人口(人)		810	990	580	150
計画戸数(戸)		177	174	131	35
計画日最大汚水量(m ³ /日)		267.0	326.7	191.4	50.0
計画流入水質 (mg/L)	BOD	200	200	200	200
	COD	—	—	—	—
	SS	200	200	200	200
	T-N	40	40	43	—
計画放流水質 (mg/L)	BOD	20	20	20	20
	COD	—	—	—	—
	SS	50	50	50	50
	T-N	—	—	—	—
処理方式	JARUS-Ⅲ型 流量調整槽 嫌気性ろ床併用 接触ばっ気法	JARUS-Ⅲ型 流量調整槽前置型 嫌気性ろ床併用 接触ばっ気法	JARUS-Ⅲ型 流量調整槽前置型 嫌気性ろ床併用 接触ばっ気法	JARUS-S型 沈澱分離槽 接触ばっ気法	
管路延長(m)	7,294	5,711	5,451	964	
マンホールポンプ(箇所)	1	3	6	1	

表 2-6 農業集落排水事業計画概要 (3/3)

項目	地区名	三 谷	勅 使	三 木	農集合計
新規採択要望年度		平成 14(2002)年度	平成 18(2006)年度	平成 26(2014)年度	—
供用開始年度		平成 18(2006)年度	平成 24(2012)年度	平成 31(2019)年度	—
該当集落		日谷町、直下町、 曾宇町、百々町	勅使町、河原町、 栄谷町、宇谷町	三木町	—
処理施設名称		三谷浄化センター	勅使浄化センター	三木浄化センター	—
処理施設敷地面積 (㎡)		1,500	1,100	800	—
処理面積 (ha)		45.0	37.0	20.0	285.6
計画人口 (人)		1,160	1,340	410	8,160
計画戸数 (戸)		249	293	133	1,661
計画日最大汚水量(m ³ /日)		382.8	443.2	110.7	—
計画流入水質 (mg/L)	BOD	200	200	200	—
	COD	—	—	—	—
	SS	200	200	200	—
	T-N	—	—	—	—
計画放流水質 (mg/L)	BOD	20	20	20	—
	COD	—	—	—	—
	SS	50	50	50	—
	T-N	—	—	—	—
処理方式		JARUS-XIV型 連続流入間欠 ばっ気方式	JARUS-XIV・G型 連続流入間欠 ばっ気方式	JARUS-S型 担体流動方式	—
管路延長 (m)		10,488	10,687	3,414	61,931
マンホールポンプ(箇所)		21	5	2	54

(2) 小規模集合排水処理施設整備事業

本市の花房地区においては、小規模集合排水処理施設整備事業で整備が行われており、この概要は、表 2-7 に示すとおりです。

表 2-7 小規模集合排水処理施設整備事業の概要

項 目		諸 元	備 考
事業採択年月日		平成5(1993)年8月30日	
供用開始年度		平成7(1997)年度	
処理施設名称		花房浄化センター	
処理施設敷地面積(m ²)		403	
処理面積(ha)		2.6	
計画人口(人)		80	
計画戸数(戸)		18	
処理能力(m ³ /日)		34.0	
計画流入水質 (mg/L)	BOD	200	
	COD	—	
	SS	200	
	T-N	—	
計画放流水質 (mg/L)	BOD	20	
	COD	—	
	SS	50	
	T-N	—	
処 理 方 式		沈殿分離接触ばっ気法	
管路延長(m)		572	
マンホールポンプ(箇所)		1	

(5) 地域下水道事業

本市の若葉台団地においては、地域下水道事業で整備が行われており、本事業の概要は表 2-8 に示すとおりです。

本事業における固定資産の扱いは、民間開発による下水道整備であることから受贈資産としての位置づけであり、平成 3(1991)年 3 月 31 日に加賀市に移管されています。

表 2-8 地域下水道事業の概要

項 目		諸 元	備 考
処 理 開 始 年 月		昭和 53(1978)年 7 月	
処 理 施 設 名 称		若葉台団地汚水処理施設	
処理施設敷地面積(m ²)		687	
計 画 人 口 (人)		836	
計 画 戸 数 (戸)		220	
処理能力(m ³ /日)		207	
計画流入水質 (mg/L)	BOD	200	
	COD	—	
	SS	250	
	T-N	—	
計画放流水質 (mg/L)	BOD	20	
	COD	—	
	SS	50	
	T-N	—	
処 理 方 式		活性汚泥法 長時間曝ばっ気法	
管 路 延 長 (m)		2,521	

2-2. 人口及び世帯数の推移

(1) 行政区域内人口及び世帯数の推移状況

平成 22(2010)年度から令和元(2019)年度の過去 10 年間における、地区別の行政区域内人口、世帯数及び世帯当たり人口の推移は、**図 2-1** に示すとおりです。

行政区域内人口は、全体的に減少傾向となっており、市域全体で平成 22(2010)年度の 74,228 人に対し、令和元(2019)年度で 66,510 人と 89.6%となっています。一方、世帯数に関しては、市域全体で平成 22(2010)年度の 29,209 世帯に対し、令和元(2019)年度で 29,191 世帯と大幅な減少は見られません。

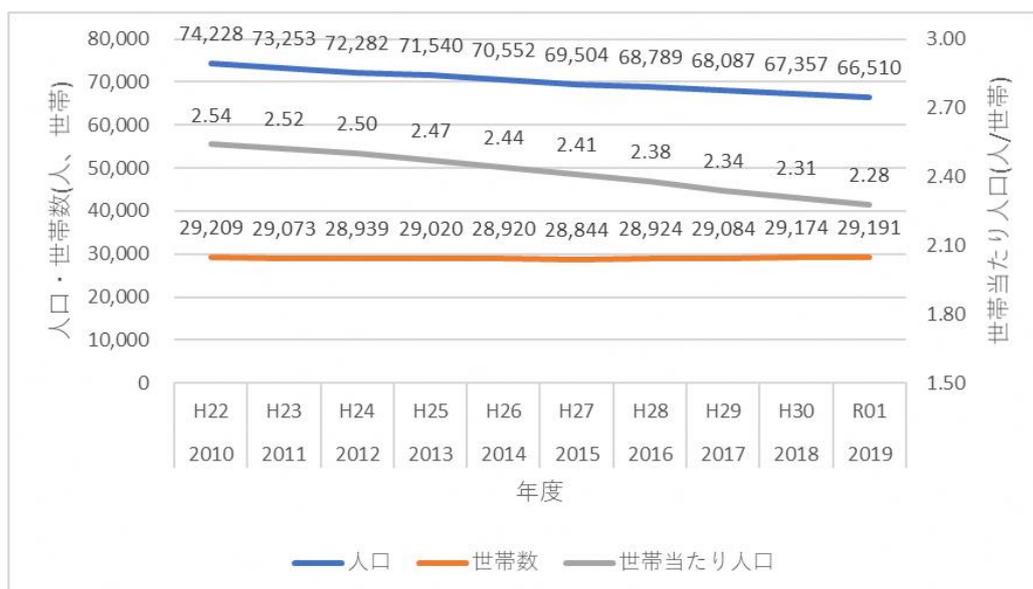


図 2-1 行政区域内人口、世帯数及び世帯当たり人口の推移

(2) 下水道処理区域別人口及び世帯数の推移状況

処理区域別の人口及び世帯数の推移状況は、**表 2-12~13** に示すとおりとなります。

行政区域内人口及び世帯数の推移状況と同様に、人口は若葉台を除けば減少傾向、世帯数は一部の処理区では上昇、その他は横ばい傾向となっています。

表 2-12 下水道処理区域別人口の推移状況

単位：人

処理区	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R01
片山津	10,507	10,290	10,166	10,082	9,997	9,800	9,711	9,609	9,479	9,428
大聖寺川	28,483	28,070	27,580	27,216	26,855	26,440	26,108	25,958	25,685	25,384
分校	907	905	895	906	906	897	915	895	877	865
新保	577	590	577	599	593	585	576	571	574	573
荒木	59	60	62	60	58	57	55	55	54	52
熊坂	219	217	216	216	215	210	207	211	207	212
柴山	536	540	521	523	503	504	509	505	500	495
箱宮	681	682	691	691	698	694	688	663	666	660
二子塚	611	581	571	569	551	544	549	529	525	507
奥谷	109	107	104	99	93	88	84	85	79	76
三谷	925	920	898	893	899	897	856	842	825	810
勅使	945	940	979	980	959	977	993	967	956	938
三木	336	333	331	329	332	322	320	316	309	304
花房	29	29	29	29	29	28	28	28	28	28
若葉台	548	551	544	535	563	553	549	560	571	554
区域外	28,756	28,438	28,118	27,813	27,301	26,908	26,641	26,293	26,022	25,624

資料：住民基本台帳、各年10月1日現在

表 2-13 下水道処理区域別世帯数の推移状況

単位：世帯

処理区	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R01
片山津	4,548	4,475	4,435	4,428	4,415	4,361	4,345	4,340	4,352	4,360
大聖寺川	11,915	11,822	11,694	11,690	11,647	11,597	11,593	11,738	11,787	11,833
分校	282	282	287	295	306	306	316	316	316	317
新保	187	193	190	207	205	205	203	206	207	214
荒木	24	25	25	26	23	23	23	24	23	21
熊坂	73	73	75	76	75	73	72	77	77	83
柴山	162	169	163	162	160	157	166	166	170	174
箱宮	218	224	228	236	243	242	244	242	244	240
二子塚	226	203	203	208	208	208	217	209	216	209
奥谷	34	35	36	34	32	32	32	33	33	33
三谷	322	325	321	325	334	340	332	329	328	320
勅使	331	332	373	379	375	398	416	408	400	381
三木	110	113	111	112	115	117	119	119	116	117
花房	10	10	10	10	10	10	10	10	10	11
若葉台	212	219	215	219	222	223	225	231	237	231
区域外	10,555	10,573	10,573	10,613	10,550	10,552	10,611	10,636	10,658	10,647

資料：住民基本台帳、各年10月1日現在

(3) 温泉地入込客数の推移状況

加賀市の主要な産業である温泉地について、平成 22(2010)年度から令和元(2019)年度の入込客数の推移状況は、表 2-14 及び図 2-15 に示すとおりとなっています。

入込客数は、平成 27(2015)年度の 2,073,270 人がピークとなっていますが、近年は 1,900,000 人未満となっており、若干減少傾向にあります。

表 2-14 温泉地入込客数の推移状況

単位：人

西暦	和暦	山代温泉	山中温泉	片山津 柴山温泉	その他の地域	合計
2010	H22	938,625	557,472	522,738	60,184	2,079,019
2011	H23	914,588	525,382	513,823	86,951	2,040,744
2012	H24	862,722	467,501	505,484	94,818	1,930,525
2013	H25	803,142	441,112	522,993	98,711	1,865,958
2014	H26	740,219	452,853	506,671	92,783	1,792,526
2015	H27	801,044	504,641	691,878	75,707	2,073,270
2016	H28	833,140	479,584	679,039	75,668	2,067,431
2017	H29	787,490	464,379	655,901	74,382	1,982,152
2018	H30	747,603	473,161	653,176	69,326	1,943,266
2019	R01	748,414	443,271	600,254	63,172	1,855,111

資料：加賀市観光統計

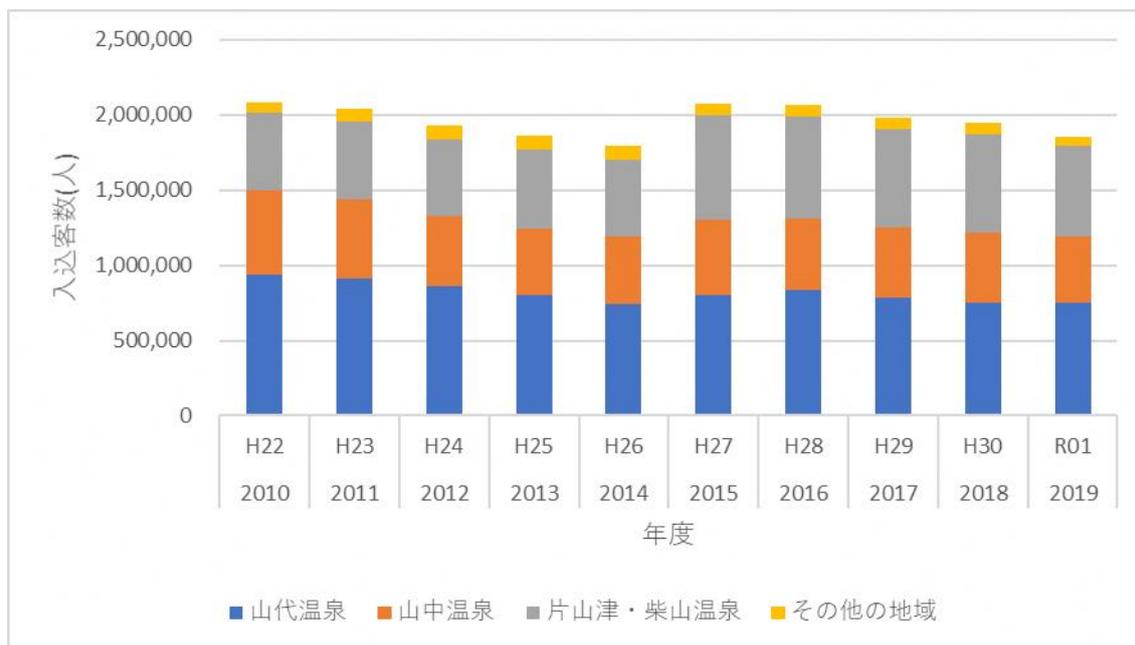


図 2-15 温泉地入込客数の推移状況

2-3. 加賀市下水道事業の現況

(1) 下水道担当部署の組織体系

加賀市における下水道事業の担当部署は上下水道部であり、上下水道部の組織体系は、**図 2-16**に示すとおりとなっています。

下水道事業における計画、工事、維持管理等の業務は下水道課で7名の体制で行われており、予算、決算等の経営事務に関しては経営企画課が担当で、6名の職員のうち下水道事業には2名の体制で事務を行っています。

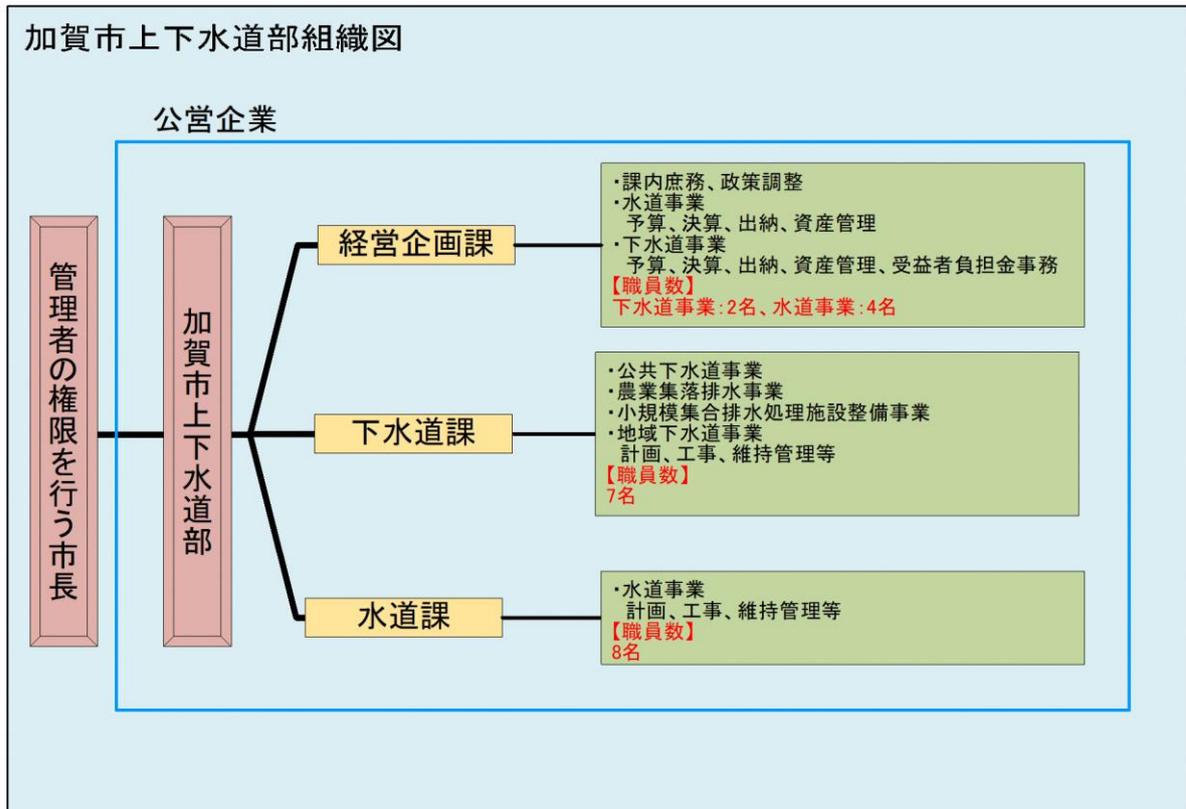


図 2-3 加賀市上下水道部局の組織体系

(2) 公共下水道事業の普及状況

公共下水道事業全体の普及状況は表 2-15 に、片山津処理区の普及状況は表 2-16 に、大聖寺川については表 2-17 に示すとおりとなっています。

両処理区とも、普及促進を継続実施しており、令和元(2019)年度の公共下水道全体で 85.6%、片山津処理区で面整備率が 84.3%、大聖寺川処理区で 86.2%となっています。整備面積の向上に反して、処理区域内人口及び水洗化人口は減少しており、これは、都市部の人口減少によるものと考えられます。

一人当たり下水道料金調定額は概ね 22,000 円/人程度、一戸当たり下水道料金調定額は 62,000 円/戸と概ね一定値となっています。

また、片山津処理区については、有収率が 50%前後と非常に低い状況にあり、今後、雨天時浸入水等の対策が必要であることが解ります。

表 2-15 公共下水道事業全体の普及状況

項目	年度	2015	2016	2017	2018	2019	5ヶ年平均値
		H27	H28	H29	H30	R01	
区域面積 (ha)	事業認可 a	1,062.0	1,062.0	1,062.0	1,062.3	1,062.3	—
	整備済 b	876.2	889.1	897.9	897.9	909.7	—
行政区域内人口 (人) c		69,016	68,336	67,571	66,869	65,925	—
全体計画区域内※	人口 (人) d	36,240	35,819	35,567	35,164	34,812	—
	世帯数(世帯) e	15,958	15,938	16,078	16,139	16,193	—
処理区域内 人口(事業認可) (人)	観光	5,295	5,457	5,227	5,132	4,910	—
	定住	34,384	34,357	34,467	34,380	33,429	—
	計	39,679	39,814	39,694	39,512	38,339	—
水洗化 人口 (人)	観光	3,455	3,552	3,512	3,363	3,278	—
	定住 f	27,394	27,452	27,534	27,325	26,870	—
	計	30,849	31,004	31,046	30,688	30,148	—
処理区域内 戸数 (戸)	観光	46	45	45	45	45	—
	定住	13,607	13,891	14,076	14,279	14,408	—
	計	13,653	13,936	14,121	14,324	14,453	—
水洗化 戸数 (戸)	観光	28	27	28	27	28	—
	定住 g	9,429	9,639	9,791	9,937	10,171	—
	計	9,457	9,666	9,819	9,964	10,199	—
普及状況 (%)	面積整備率 b/a	82.5	83.7	84.5	84.5	85.6	—
	人口普及率 d/c	49.8	50.3	51.0	51.4	50.7	—
	水洗化人口 f/d	75.6	76.6	77.4	77.7	77.2	76.9
	水洗化戸数 g/e	59.1	60.5	60.9	61.6	62.8	61.0
整備済管渠延長 (m)	累計	226,007	229,470	232,291	234,967	236,302	—
	ha当り	258	258	259	262	260	—
年間処理汚水量 (千m3)		5,261	5,420	5,729	5,780	6,011	—
日平均処理汚水量 (m3/日)		14,414	14,849	15,694	15,835	16,469	—
有収汚水量 (千m3) h		4,214	4,202	4,314	4,324	4,247	—
有収率 (%)		80.1	77.5	75.3	74.8	70.7	75.7
下水道料金調定額 (千円) i		593,640	591,644	608,899	612,454	605,459	—
定住人口当り有収汚水量(m3/人) h/e		153.8	153.1	156.7	158.2	158.1	156.0
定住戸数当り有収汚水量(m3/戸) i/g		446.9	435.9	440.6	435.1	417.6	435.2
定住人口当り下水道料金調定額(円/人) i/e		21,670	21,552	22,114	22,414	22,533	22,057
定住戸数当り下水道料金調定額(円/戸) i/g		62,959	61,380	62,190	61,634	59,528	61,538
有収汚水量当り下水道料金調定額(円/m3) i/h		140.9	140.8	141.1	141.6	142.6	141.4

資料：H27～H29…加賀市の下水道(平成30年度)、H30～R01…加賀市調べ

注) 全体計画区域内人口及び世帯※は、表2-12～13による。

観光分：処理区域内人口＝年間利用客数/365日

水洗化人口＝年間利用客数/365日

表 2-16 公共下水道事業(片山津処理区)の普及状況

項目		年度	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R01	5ヶ年平均値
区域面積 (ha)	事業認可 a		352.0	352.0	352.0	352.3	352.3	—
	整備済 b		278.3	285.8	289.5	289.5	297.3	—
行政区域内人口 (人) c			69,016	68,336	67,571	66,869	65,925	—
全体計画区域内※	人口 (人) d		9,800	9,711	9,609	9,479	9,428	—
	世帯数(世帯) e		4,361	4,345	4,340	4,352	4,360	—
処理区域内 人口(事業認可) (人)	観光		1,718	1,860	1,797	1,790	1,645	—
	定住		9,350	9,271	9,382	9,400	9,073	—
	計		11,068	11,131	11,179	11,190	10,718	—
水洗化 人口 (人)	観光		1,718	1,860	1,797	1,790	1,645	—
	定住 f		8,284	8,248	8,229	8,171	8,120	—
	計		10,002	10,108	10,026	9,961	9,765	—
処理区域内 戸数 (戸)	観光		11	11	11	11	11	—
	定住		3,484	3,604	3,647	3,738	3,798	—
	計		3,495	3,615	3,658	3,749	3,809	—
水洗化 戸数 (戸)	観光		11	11	11	11	11	—
	定住 g		2,763	2,818	2,825	2,895	2,977	—
	計		2,774	2,829	2,836	2,906	2,988	—
普及状況 (%)	面積整備率 b/a		79.1	81.2	82.2	82.2	84.4	—
	人口普及率 d/c		13.5	13.6	13.9	14.1	13.8	—
	水洗化人口 f/d		84.5	84.9	85.6	86.2	86.1	85.5
	水洗化戸数 g/e		63.4	64.9	65.1	66.5	68.3	65.6
整備済管渠延長 (m)	累計		62,237	64,071	65,519	67,296	67,296	—
	ha当り		224	224	226	232	226	—
年間処理汚水量 (千m3)			2,345	2,500	2,666	2,743	3,094	—
日平均処理汚水量 (m3/日)			6,425	6,849	7,303	7,515	8,477	—
有収汚水量 (千m3) h			1,465	1,431	1,489	1,496	1,469	—
有収率 (%)			62.5	57.2	55.9	54.5	47.5	55.5
下水道料金調定額 (千円) i			207,846	202,793	211,614	213,532	210,151	—
定住人口当り有収汚水量(m3/人) h/e			176.8	173.5	180.9	183.1	180.9	179.0
定住戸数当り有収汚水量(m3/戸) i/g			530.2	507.8	527.1	516.8	493.4	515.1
定住人口当り下水道料金調定額(円/人) i/e			25,090	24,587	25,716	26,133	25,881	25,481
定住戸数当り下水道料金調定額(円/戸) i/g			75,225	71,963	74,908	73,759	70,592	73,289
有収汚水量当り下水道料金調定額(円/m3) i/h			141.9	141.7	142.1	142.7	143.1	142.3

資料：H27～H29…加賀市の下水道(平成30年度)、H30～R01…加賀市調べ

注) 全体計画区域内人口及び世帯※は、表2-12～13による。

観光分：処理区域内人口＝年間利用客数/365日

水洗化人口＝年間利用客数/365日

表 2-17 公共下水道事業(大聖寺川処理区)の普及状況

項目		年度	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R01	5ヶ年平均値
区域面積 (ha)	事業認可 a		710.0	710.0	710.0	710.0	710.0	—
	整備済 b		597.9	603.3	608.4	608.4	612.4	—
行政区域内人口 (人) c			69,016	68,336	67,571	66,869	65,925	—
全体計画区域内※	人口 (人) d		26,440	26,108	25,958	25,685	25,384	—
	世帯数(世帯) e		11,597	11,593	11,738	11,787	11,833	—
処理区域内 人口(事業認可) (人)	観光		3,577	3,597	3,430	3,342	3,265	—
	定住		25,034	25,086	25,085	24,980	24,356	—
	計		28,611	28,683	28,515	28,322	27,621	—
水洗化 人口 (人)	観光		1,737	1,692	1,715	1,573	1,633	—
	定住 f		19,110	19,204	19,305	19,154	18,750	—
	計		20,847	20,896	21,020	20,727	20,383	—
処理区域内 戸数 (戸)	観光		35	34	34	34	34	—
	定住		10,123	10,287	10,429	10,541	10,610	—
	計		10,158	10,321	10,463	10,575	10,644	—
水洗化 戸数 (戸)	観光		17	16	17	16	17	—
	定住 g		6,666	6,821	6,966	7,042	7,194	—
	計		6,683	6,837	6,983	7,058	7,211	—
普及状況 (%)	面積整備率 b/a		84.2	85.0	85.7	85.7	86.3	—
	人口普及率 d/c		36.3	36.7	37.1	37.4	36.9	—
	水洗化人口 f/d		72.3	73.6	74.4	74.6	73.9	73.8
	水洗化戸数 g/e		57.5	58.8	59.3	59.7	60.8	59.2
整備済管渠延長 (m)	累計		163,770	165,399	166,772	167,671	169,006	—
	ha当り		274	274	274	276	276	—
年間処理汚水量 (千m3)			2,916	2,920	3,063	3,037	2,917	—
日平均処理汚水量 (m3/日)			7,989	8,000	8,391	8,320	7,992	—
有収汚水量 (千m3) h			2,749	2,771	2,825	2,828	2,778	—
有収率 (%)			94.3	94.9	92.2	93.1	95.2	93.9
下水道料金調定額 (千円) i			385,794	388,851	397,285	398,922	395,308	—
定住人口当り有収汚水量(m3/人) h/e			143.9	144.3	146.3	147.6	148.2	146.1
定住戸数当り有収汚水量(m3/戸) i/g			412.4	406.2	405.5	401.6	386.2	402.4
定住人口当り下水道料金調定額(円/人) i/e			20,188	20,248	20,579	20,827	21,083	20,585
定住戸数当り下水道料金調定額(円/戸) i/g			57,875	57,008	57,032	56,649	54,950	56,703
有収汚水量当り下水道料金調定額(円/m3) i/h			140.3	140.3	140.6	141.1	142.3	140.9

資料：H27～H29…加賀市の下水道(平成30年度)、H30～R01…加賀市調べ

注) 全体計画区域内人口及び世帯※は、表2-12～13による。

観光分：処理区域内人口＝年間利用客数/365日

水洗化人口＝年間利用客数/365日

(3) 農業集落排水事業及び小規模集合排水処理施設整備事業の普及状況

農業集落排水事業及び小規模集合排水処理施設整備事業の普及状況は、表 2-18 に示すとおりです。ここに、小規模集合排水処理施設整備事業で整備されている花房地区については、予算上農業集落排水事業で管理されているので、表 2-18 は当該事業も含めたものとなっています。

令和元(2019)年度に、三木地区が供用開始したことにより処理区域内人口が増加していますが、平成 30(2018)年度までは、処理区域内人口及び処理区域内戸数とも概ね一定値となっています。水洗化率を向上することにより、下水道使用料の増が見込めると考えられます。

表 2-18 農業集落排水事業及び小規模集合排水処理施設整備事業の普及状況

項目	年度	2015	2016	2017	2018	2019	5ヶ年平均値	備 考
		H27	H28	H29	H30	R01		
事業計画面積 (ha)		268.2	268.7	268.7	268.7	288.7	—	
整備済面積 (ha)		268.2	268.7	268.7	268.7	288.7	—	H28に地域下水編入
処理区域内戸数 (戸)		1,829	1,857	1,865	1,864	2,004	—	
処理区域内人口 (人) a		5,286	5,206	5,196	5,097	5,266	—	
水洗化戸数 (戸) b		1,449	1,482	1,491	1,493	1,568	—	
水洗化人口 (人) c		4,740	4,701	4,701	4,600	4,504	—	
水洗化率 (%) c/a		89.7	90.3	90.5	90.2	85.5	—	
整備済管渠延長 (m)		68,441	68,613	68,613	68,613	72,027	—	
年間処理汚水量 (千m3)		445.3	455.0	455.9	444.3	434.7	—	
日平均処理汚水量 (m3)		1,219	1,247	1,249	1,218	1,206	—	
有収汚水量 (千m3) d		406.9	409.9	418.5	406.7	408.3	—	
有 収 率 (%)		91.4	90.1	91.8	91.5	93.9	91.7	
下水道料金調定額(千円) e		57,574	58,157	58,762	58,359	58,450	—	農集全部+花房分
一人当り有収汚水量(m3/人) d/c		85.8	87.2	89.0	88.4	90.7	88.2	
一戸当り有収汚水量(m3/戸) d/b		280.8	276.6	280.7	272.4	260.4	274.2	
一人当り下水道料金調定額(円/人) e/c		12,146	12,371	12,500	12,687	12,977	12,536.2	
一戸当り下水道料金調定額(円/戸) e/b		39,734	39,242	39,411	39,088	37,277	38,950.4	
有収汚水量当り下水道料金調定額(円/m3) e/d		141.5	141.9	140.4	143.5	143.2	142.1	

資料：H27～H29…加賀市の下水道(平成30年度)、H30～R01…加賀市調べ

(4) 地域下水道事業の普及状況

地域下水道事業で整備されている若葉台地区の普及状況は、表 2-19 に示すとおりです。

本地区については、普及率が 100% であり、水洗化人口及び水洗化戸数とも安定しており、将来的にも大きな変動はないものと想定されます。

表 2-19 地域下水道事業の普及状況

項目	年度	2015	2016	2017	2018	2019	5ヶ年平均値	備 考
		H27	H28	H29	H30	R01		
事業計画面積 (ha)		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	—	
整備済面積 (ha)		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	—	
処理区域内戸数 (戸)		203	205	206	206	209	—	
処理区域内人口 (人) a		547	547	550	548	548	—	
水洗化戸数 (戸) b		203	204	206	206	209	—	
水洗化人口 (人) c		547	547	550	548	548	—	
水洗化率 (%) c/a		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	
整備済管渠延長 (m)		2,521	2,521	2,521	2,521	2,521	—	
年間処理汚水量 (千m3)		88.0	87.0	93.0	98.0	90.0	—	
日平均処理汚水量 (m3)		240	239	254	269	245	—	
有収汚水量 (千m3) d		50.0	51.7	52.6	52.8	52.2	—	
有 収 率 (%)		56.8	59.4	56.6	53.9	58.0	56.9	
下水道料金調定額(千円) e		7,402	7,274	7,418	7,473	7,443	—	
水洗化率 (%) c/a		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—	
一人当り有収汚水量(m3/人) d/c		91.4	94.5	95.6	96.4	95.3	94.6	
一戸当り有収汚水量(m3/戸) d/b		246.3	253.4	255.3	256.3	249.8	252.2	
一人当り下水道料金調定額(円/人) e/c		13,532	13,298	13,487	13,637	13,582	13,507.2	
一戸当り下水道料金調定額(円/戸) e/b		36,463	35,657	36,010	36,277	35,612	36,003.8	
有収汚水量当り下水道料金調定額(円/m3) e/d		148.0	140.7	141.0	141.5	142.6	142.8	

資料：H27～H29…加賀市の下水道(平成30年度)、H30～R01…加賀市調べ

表 2-20 用途別有収汚水量の状況

単位：m3

用途区分	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R01
家庭用	2,553,498	2,560,495	2,614,928	2,598,751	2,594,558
都市活動用水	1,091,671	1,070,998	1,083,043	1,083,043	1,042,186
旅館用	981,733	983,579	1,040,344	1,109,243	1,034,425
製造業用水	46,819	49,176	45,894	46,975	46,807
その他	10,189	9,826	9,183	8,133	7,863
下水合計	4,683,910	4,674,074	4,793,392	4,839,673	4,725,839

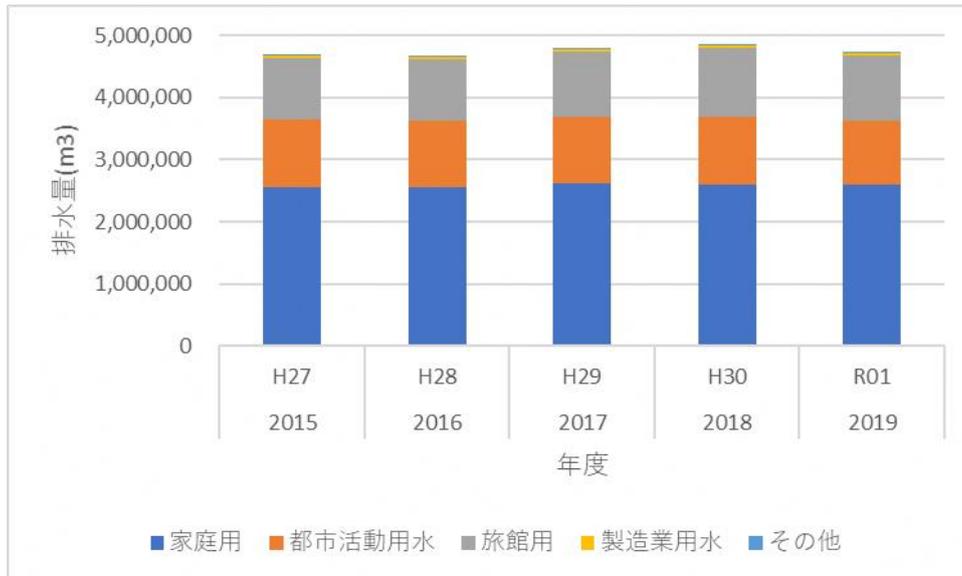


図 2-4 用途別流入汚水量の状況

(6) 下水道使用料金について

加賀市における下水道使用料金は、表 2-21 に示すとおりで徴収しています。

上水道以外の水を使用した場合の汚水量は、使用者が設置する計量装置で行い下記の料金計算表のとおり計算します。

表 2-21 下水道使用料金体系(税抜)

用途	基本料金		超過料金(1m ³ につき)	
	水量	料金	水量	料金
一般汚水	10m ³ 以下	1,200 円	10m ³ を超え 50m ³ 以下の分	130 円
			50m ³ を超え 1,000m ³ 以下の分	135 円
			1,000m ³ を超える分	140 円
公衆浴場、温泉	—	—	—	85 円

(7) 受益者負担金について

加賀市における受益者負担金は、下水道の整備によって恩恵を受ける方に整備にかかる費用の一部を負担する目的で 1 m² 当たり 415 円で徴収しており、別途、生産農地等に対する徴収猶予や、公用地等に対する負担金の減免措置をとっています。

(8) 下水道事業の決算の状況

公営企業化した平成29年度から令和元年度における各事業の決算の状況は、表2-22～2-25に示すとおりです。

収益的収支の推移を見ますと、公共下水道事業、農業集落排水事業、小規模集合排水処理事業の3事業は赤字会計が続いています。一般会計からの基準外繰入や料金改定など、経営改善に向けた取り組みが必要です。地域下水道事業は、水洗化率が100%であり、下水道使用料収入が安定しており黒字となっています。

表 2-22 公共下水道事業決算の状況

単位：千円

		H29	H30	R1	R2 (見込)
収 益	営業収益	650,281	656,490	649,885	593,963
	営業外収益等	1,055,216	984,699	1,035,955	1,054,746
	収 益 計	1,705,497	1,641,189	1,685,840	1,648,709
費 用	営業費用				
	維持管理費等	499,887	523,132	566,632	594,737
	減価償却費	896,766	873,503	876,064	846,602
	計	1,396,653	1,396,635	1,442,696	1,441,339
	営業外費用等	312,773	284,259	247,561	219,643
	費 用 計	1,709,426	1,680,894	1,690,257	1,660,982
損 益 額		-3,929	-39,705	-4,417	-12,273

表 2-23 農業集落排水事業決算の状況

単位：千円

		H29	H30	R1	R2 (見込)
収 益	営業収益	54,409	53,500	53,179	54,482
	営業外収益等	193,826	156,069	157,297	157,088
	収 益 計	248,235	209,569	210,476	211,570
費 用	営業費用				
	維持管理費等	43,848	53,021	52,998	58,699
	減価償却費	148,823	125,526	124,148	127,440
	計	192,671	178,547	177,146	186,139
	営業外費用等	45,044	39,878	33,762	31,842
	費 用 計	237,715	218,425	210,908	217,981
損 益 額		10,520	-8,856	-432	-6,411

表 2-24 小規模集合排水処理事業決算の状況

単位：千円

		H29	H30	R1	R2 (見込)
収 益	営業収益	565	536	523	539
	営業外収益等	4,618	2,416	4,183	2,161
	収 益 計	5,183	2,952	4,706	2,700
費 用	営業費用				
	維持管理費等	843	869	2,907	1,356
	減価償却費	1,337	1,337	1,337	1,337
	計	2,180	2,206	4,244	2,693
	営業外費用等	1,009	879	947	759
	費 用 計	3,189	3,085	5,191	3,452
損 益 額		1,994	-133	-485	-752

表 2-25 地域下水道事業決算の状況

単位：千円

		H29	H30	R1	R2 (見込)
収 益	営業収益	6,868	6,919	6,838	6,751
	営業外収益等	9,859	9,639	5,595	5,016
	収 益 計	16,727	16,558	12,433	11,767
費 用	営業費用				
	維持管理費等	4,517	4,764	4,376	5,841
	減価償却費	10,336	10,336	6,064	5,530
	計	14,853	15,100	10,440	11,371
	営業外費用等	71	0	0	100
	費 用 計	14,924	15,100	10,440	11,471
損 益 額		1,803	1,458	1,993	296

2-4. 民間活力の活用等

加賀市における民間活力の活用状況は、表 2-26 に示すとおりです。

表 2-26 維持管理業務の民間委託の状況

事業名	管 路	ポンプ場	処理場
公共下水道事業	管路清掃、修繕について、全て民間に委託している。	終末処理場、中継ポンプ場、マンホールポンプ施設の適正な運転、一定の性能の確保及び効率的かつ経済的な運転・維持管理について、包括的に民間委託を行っている。 委託期間：令和 2～6 年度 委託レベル：2.5	
農業集落排水事業	終末処理場、マンホールポンプ施設の適正な運転、一定の性能の確保及び効率的かつ経済的な運転・維持管理について、民間委託を行っている。		
小規模集合排水処理事業			
地域下水道事業			

2-5. 経営比較分析表による評価

経営の現状及び課題を的確かつ簡明に把握するため、全国平均との比較により財務状況の把握・分析を行いました。

全体的に全国平均を下回っており、下記指標等の向上を図りながら経営改善を推進していく必要があります。

指 標		平成29年度	平成30年度	令和元年度	説 明	分 析
経常収支比率 (%)	加賀市	101.60	98.40	100.10	単年度の収支が黒字であることを示し、100%以上となっていることが必要。	100%を超えてはいるが、引き続き経営改善に取り組む。
	全国平均	108.10	107.50	106.90		
経費回収率 (%)	加賀市	70.10	83.10	79.62	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表しており、100%以上であることが必要。	使用料で経費が賄えていない。適正な使用料収入の確保、汚水処理費の削減が必要である。
	全国平均	106.20	106.26	104.31		
有収率 (%)	加賀市	77.40	76.50	73.00	処理水量のうち使用料徴収の対象となる水量の割合。有収率が高いほど不明水が少なく効率的。	全国平均よりも数値が低く、不明水が多いことが考えられる。効率的な汚水処理のため、調査等が必要である。
	全国平均	79.80	80.40	83.20		
水洗化率 (%)	加賀市	81.50	81.60	81.30	公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%となっていることが望ましい。	全国平均よりも下回っており、使用料収入増加のため、水洗化率向上を図っていく。
	全国平均	96.50	80.40	95.80		
使用料単価 (円)	加賀市	130.70	129.90	131.20	有収水量1㎡当たりの使用料収入。	全国平均より安価となっている。適正な単価の検討が必要である。
	全国平均	138.70	138.40	137.60		
汚水処理原価 (円)	加賀市	188.49	156.25	159.48	有収水量1㎡当たりの汚水処理に要した費用。	企業債利息等の汚水資本費の減少により、今後の汚水処理原価は減少傾向となる予測であるが、効率的な汚水処理の実施や接続率の向上による有収水量の増加も必要である。
	全国平均	130.56	130.21	131.90		

※上記は下水道事業全体の指標である。

3. 将来の事業環境

3-1. 行政区域内人口の見通し

加賀市の行政区域内人口の推移は、前出 2-2. に示すとおり全体的に減少傾向となっており、市域全体で平成 22(2010)年度の 74,228 人に対し、令和元(2019)年度で 66,510 人と 89.6%となっています。これに対し、世帯数に関しては、市域全体で平成 22(2010)年度の 29,209 世帯に対し、令和元(2019)年度で 29,191 世帯と大幅な減少は見られません。

また、加賀市における上位計画及び下水道計画における将来人口は、表 3-1 に示すとおり想定されています。今後 10 年間においても人口は減少し、令和 12 年には 64,145 人と想定しています。

本計画における策定期間の最終年度となる令和 31(2049)年度の将来人口は、目標年度の違いはありますが、「加賀市人口ビジョン」等の上位計画に記載のとおり人口減少に歯止めをかけることに考慮し、60,000 人と設定します。世帯数についても、「第 2 次加賀市総合計画」に準拠し、29,000 世帯とします。

将来行政区域内人口 : 60,000 人 (29,000 世帯)

表 3-1 各種計画における将来人口・世帯数の想定

計画書名	策定年度	現状(R 元)	目標年度	目標人口	備考
加賀市人口ビジョン	平成 27 年度 (2015)	66,510 人 29,191 世帯 (住基 10.1)	令和 22 年度 (2040)	60,000 人以上	【市独自推計値】 R07…65,229 人 R12…62,834 人 R17…60,342 人 R22…57,842 人
第 2 期 加賀市まち・ひと・ しごと総合戦略	令和元年度 (2019)		令和 22 年度 (2040)	60,000 人以上	加賀市人口ビジョン による。
第 2 次加賀市 総合計画	平成 28 年度 (2016)		令和 22 年度 (2040)	60,000 人以上	同 上 世帯数：約 29,000
公共下水道計画	令和元年度 (2019)		令和 12 年度	59,000 人	大聖寺川処理区 度事業計画説明書
			令和 6 年度	62,930 人	
"	平成 28 年度		令和 25 年度	59,000 人	片山津処理区 事業計画説明書
		令和 5 年度	63,600 人		

3-2. 下水道処理区域内人口の見通し

下水道区域における将来人口及び世帯数の見通しは、図 3-1～4 に示すとおりです。

表 3-2 公共下水道事業計画等における処理区域内人口

項 目		片山津	大聖寺川	備 考
計画策定年度		平成 28 年度	令和元年度	
計画目標 年 度	全体計画	令和 25 年度	令和 12 年度	
	事業計画	令和 6 年度	令和 6 年度	
計画区域 (ha)	全体計画	472.0	1,470.0	
	事業計画	352.0	725.8	
計画処理区域内人口 (人)	全体計画	8,490	38,300	
	事業計画	8,945	26,789	
現状全体計画区域内 人口(人)	事業計画書	11,215	40,700	片山津……H27 値 大聖寺川…H30 値
	市調べ	9,800	25,685	〃

注) 現状全体計画区域内人口の市調べは、前出表 2-12 の各年度の人口である。

表 3-3 下水道区域内外の人口の見通し

単位：人

西暦	和暦	公共下水道事業			農業集落 排水事業	小規模集合排水 処理施設整備事業	地域 下水道事業	区域外	合計
		片山津	大聖寺川	小 計					
2019	R01	9,428	25,384	34,812	5,212	54	548	25,884	66,510
2020	R02	9,395	25,294	34,689	5,212	54	548	25,792	66,295
2021	R03	9,362	25,204	34,566	5,212	54	548	25,700	66,080
2022	R04	9,329	25,114	34,443	5,212	54	548	25,608	65,865
2023	R05	9,296	25,024	34,320	5,212	54	548	25,516	65,650
2024	R06	9,263	24,934	34,197	5,212	54	548	25,424	65,435
2025	R07	9,230	24,844	34,074	5,212	54	548	25,332	65,220
2026	R08	9,197	24,754	33,951	5,212	54	548	25,240	65,005
2027	R09	9,164	24,664	33,828	5,212	54	548	25,148	64,790
2028	R10	9,131	24,574	33,705	5,212	54	548	25,056	64,575
2029	R11	9,098	24,484	33,582	5,212	54	548	24,964	64,360
2030	R12	9,065	24,394	33,459	5,212	54	548	24,872	64,145
2031	R13	9,032	24,304	33,336	5,212	54	548	24,780	63,930
2032	R14	8,999	24,214	33,213	5,212	54	548	24,688	63,715
2033	R15	8,966	24,124	33,090	5,212	54	548	24,596	63,500
2034	R16	8,933	24,034	32,967	5,212	54	548	24,504	63,285
2035	R17	8,900	23,944	32,844	5,212	54	548	24,412	63,070
2036	R18	8,867	23,854	32,721	5,212	54	548	24,320	62,855
2037	R19	8,834	23,764	32,598	5,212	54	548	24,228	62,640
2038	R20	8,801	23,674	32,475	5,212	54	548	24,136	62,425
2039	R21	8,768	23,584	32,352	5,212	54	548	24,044	62,210
2040	R22	8,735	23,494	32,229	5,212	54	548	23,952	61,995
2041	R23	8,702	23,404	32,106	5,212	54	548	23,860	61,780
2042	R24	8,669	23,314	31,983	5,212	54	548	23,768	61,565
2043	R25	8,636	23,224	31,860	5,212	54	548	23,676	61,350
2044	R26	8,603	23,134	31,737	5,212	54	548	23,584	61,135
2045	R27	8,570	23,044	31,614	5,212	54	548	23,492	60,920
2046	R28	8,537	22,954	31,491	5,212	54	548	23,400	60,705
2047	R29	8,504	22,864	31,368	5,212	54	548	23,308	60,490
2048	R30	8,471	22,774	31,245	5,212	54	548	23,216	60,275
2049	R31	8,420	22,660	31,080	5,212	54	548	23,106	60,000

注：R01は実績値

表 3-4 下水道区域内外の世帯数推移

単位：世帯

西暦	和暦	公共下水道事業			農業集落 排水事業	小規模集合排水 処理施設整備事業	地域 下水道事業	区域外	合計
		片山津	大聖寺川	小 計					
2019	R01	4,360	11,833	16,193	1,983	21	209	10,785	29,191
2020	R02	4,359	11,831	16,190	1,983	21	209	10,782	29,185
2021	R03	4,358	11,829	16,187	1,983	21	209	10,779	29,179
2022	R04	4,357	11,827	16,184	1,983	21	209	10,776	29,173
2023	R05	4,356	11,825	16,181	1,983	21	209	10,773	29,167
2024	R06	4,355	11,823	16,178	1,983	21	209	10,770	29,161
2025	R07	4,354	11,821	16,175	1,983	21	209	10,767	29,155
2026	R08	4,353	11,819	16,172	1,983	21	209	10,764	29,149
2027	R09	4,352	11,817	16,169	1,983	21	209	10,761	29,143
2028	R10	4,351	11,815	16,166	1,983	21	209	10,758	29,137
2029	R11	4,350	11,813	16,163	1,983	21	209	10,755	29,131
2030	R12	4,349	11,811	16,160	1,983	21	209	10,752	29,125
2031	R13	4,348	11,809	16,157	1,983	21	209	10,749	29,119
2032	R14	4,347	11,807	16,154	1,983	21	209	10,746	29,113
2033	R15	4,346	11,805	16,151	1,983	21	209	10,743	29,107
2034	R16	4,345	11,803	16,148	1,983	21	209	10,740	29,101
2035	R17	4,344	11,801	16,145	1,983	21	209	10,737	29,095
2036	R18	4,343	11,799	16,142	1,983	21	209	10,734	29,089
2037	R19	4,342	11,797	16,139	1,983	21	209	10,731	29,083
2038	R20	4,341	11,795	16,136	1,983	21	209	10,728	29,077
2039	R21	4,340	11,793	16,133	1,983	21	209	10,725	29,071
2040	R22	4,339	11,791	16,130	1,983	21	209	10,722	29,065
2041	R23	4,338	11,789	16,127	1,983	21	209	10,719	29,059
2042	R24	4,337	11,787	16,124	1,983	21	209	10,716	29,053
2043	R25	4,336	11,785	16,121	1,983	21	209	10,713	29,047
2044	R26	4,335	11,783	16,118	1,983	21	209	10,710	29,041
2045	R27	4,334	11,781	16,115	1,983	21	209	10,707	29,035
2046	R28	4,333	11,779	16,112	1,983	21	209	10,704	29,029
2047	R29	4,332	11,777	16,109	1,983	21	209	10,701	29,023
2048	R30	4,331	11,775	16,106	1,983	21	209	10,698	29,017
2049	R31	4,330	11,750	16,080	1,983	21	209	10,707	29,000

注：R01は実績値



図 3-1 公共下水道区域内人口及び世帯数の見通し



図 3-2 農業集落排水区域内の人口及び世帯数の見通し

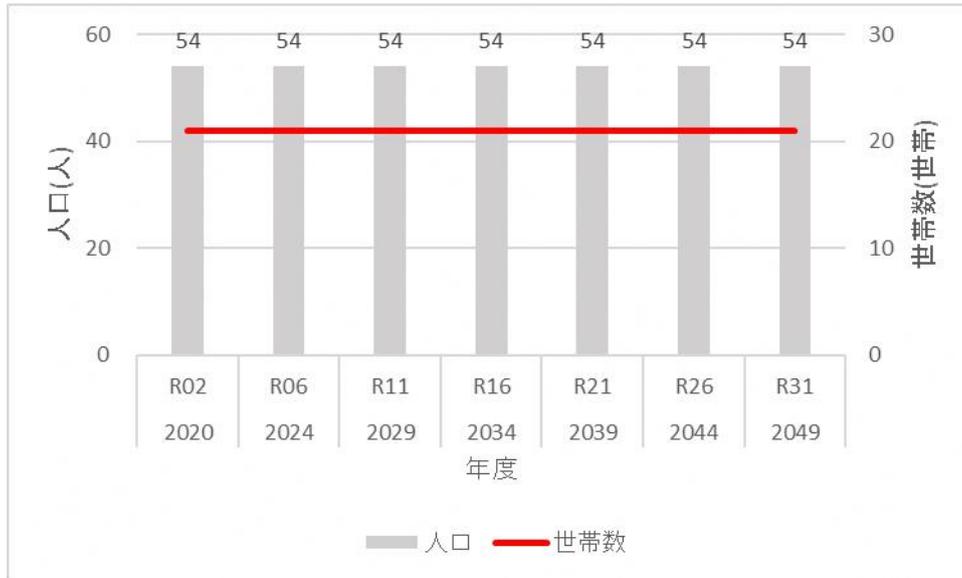


図 3-3 小規模集落排水処理区域内の人口及び世帯数の見通し

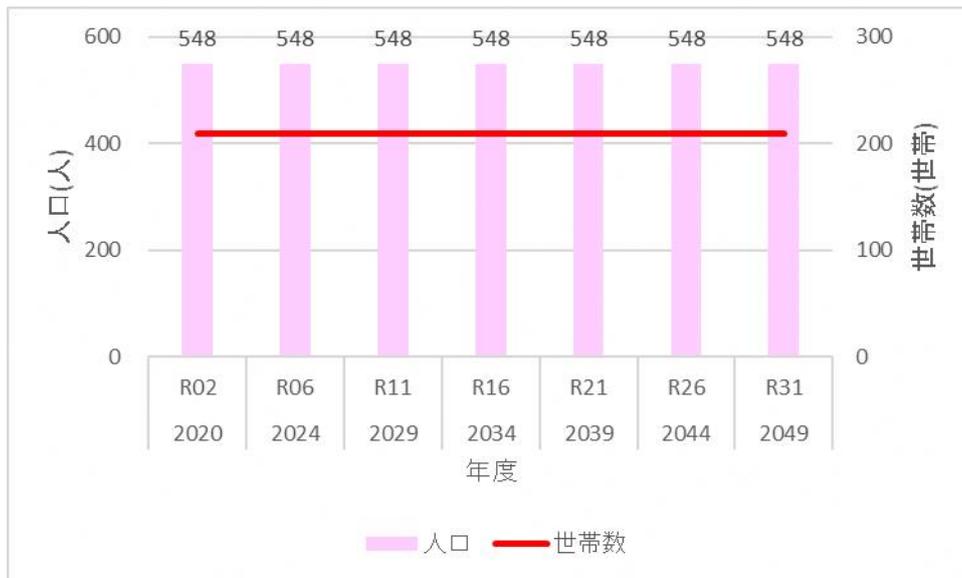


図 3-4 地域下水道区域内の人口及び世帯数の見通し

3-3. 投資計画

投資・財政計画期間である令和12年度までの公共下水道事業における投資計画は表3-5の示すとおりです。

浄化センターの統合事業が、令和7年から令和9年の3年間に集中し、近年にない投資額となっています。

今後の整備においては、詳細な調査・設計を行うことにより投資額が増減する可能性があるため、随時、内容の精査を行っていきます。

農業集落排水事業、小規模集合排水事業、地域下水道事業においては、整備が完了し、今後は修繕等で延命を図り、大規模な修繕工事が発生した場合には、計画を修正していきます。

表 3-5 公共下水道事業の投資計画

単位：百万円

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
普及促進	228	200	50	92	92	168	168	168	168	168	1,503
耐震・更新	101	125	255	179	172	42	42	42	42	42	1,044
布設替え	14	33	87	87	87	42	42	42	42	42	520
マンホール蓋取替	26	12	12	12	12	0	0	0	0	0	74
管渠更正	6	11	0	0	0	0	0	0	0	0	17
ポンプ場更新	10	21	108	79	73	0	0	0	0	0	292
雨水施設更新	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
大聖寺川流域建設負担金	45	46	46	0	0	0	0	0	0	0	137
浄化センター統合	0	0	0	0	1,800	1,800	1,800	0	0	0	5,400
整備費計	329	325	305	271	2,065	2,010	2,010	210	210	210	7,948

3-4. 水洗化人口の見通し

(1) 水洗化人口

水洗化率は低い状況にあり、未接続者への早期接続への加入促進活動を行い、水洗化率の向上を図っていきます。

表 3-6 水洗化率の設定

処理区名	R 元水洗化率 (%)	水洗化率上限値 (%)	年間水洗化上昇率 (%)	備 考
片山津	86.1	95.0	0.5	
大聖寺川	73.9	90.0	1.0	現状水洗化率が 80%台以下
分校	94.4	100.0	0.5	
新保	99.0	100.0	0.5	
荒木	100.0	100.0	0.0	
熊坂	95.5	100.0	0.5	
柴山	84.7	100.0	1.0	現状水洗化率が 80%台以下
箱宮	89.1	100.0	1.0	〃
二子塚	88.4	100.0	1.0	〃
奥谷	80.3	100.0	1.0	〃
三谷	95.6	100.0	0.5	
勅使	76.0	100.0	1.0	現状水洗化率が 80%台以下
三木	18.9	100.0	10.0	H 元より供用開始のため
花房	88.9	100.0	1.0	現状水洗化率が 80%台以下
若葉台	100.0	100.0	0.0	

表 3-7 処理区別・年度別水洗化率の設定

西暦	和暦	片山津	大聖寺川	分校	新保	荒木	熊坂	柴山	箱宮	二子塚	奥谷	三谷	勅使	三木	花房	若葉台
2019	R01	86.1%	73.9%	94.4%	99.0%	100.0%	95.5%	84.7%	89.1%	88.4%	80.3%	95.6%	76.0%	18.9%	88.9%	100.0%
2020	R02	86.6%	74.9%	94.9%	99.5%	100.0%	96.0%	85.7%	90.1%	89.4%	81.3%	96.1%	77.0%	28.9%	89.9%	100.0%
2021	R03	87.1%	75.9%	95.4%	100.0%	100.0%	96.5%	86.7%	91.1%	90.4%	82.3%	96.6%	78.0%	38.9%	90.9%	100.0%
2022	R04	87.6%	76.9%	95.9%	100.0%	100.0%	97.0%	87.7%	92.1%	91.4%	83.3%	97.1%	79.0%	48.9%	91.9%	100.0%
2023	R05	88.1%	77.9%	96.4%	100.0%	100.0%	97.5%	88.7%	93.1%	92.4%	84.3%	97.6%	80.0%	58.9%	92.9%	100.0%
2024	R06	88.6%	78.9%	96.9%	100.0%	100.0%	98.0%	89.7%	94.1%	93.4%	85.3%	98.1%	81.0%	68.9%	93.9%	100.0%
2025	R07	89.1%	79.9%	97.4%	100.0%	100.0%	98.5%	90.7%	95.1%	94.4%	86.3%	98.6%	82.0%	78.9%	94.9%	100.0%
2026	R08	89.6%	80.9%	97.9%	100.0%	100.0%	99.0%	91.7%	96.1%	95.4%	87.3%	99.1%	83.0%	88.9%	95.9%	100.0%
2027	R09	90.1%	81.9%	98.4%	100.0%	100.0%	99.5%	92.7%	97.1%	96.4%	88.3%	99.6%	84.0%	98.9%	96.9%	100.0%
2028	R10	90.6%	82.9%	98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	93.7%	98.1%	97.4%	89.3%	100.0%	85.0%	100.0%	97.9%	100.0%
2029	R11	91.1%	83.9%	99.4%	100.0%	100.0%	100.0%	94.7%	99.1%	98.4%	90.3%	100.0%	86.0%	100.0%	98.9%	100.0%
2030	R12	91.6%	84.9%	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	95.7%	100.0%	99.4%	91.3%	100.0%	87.0%	100.0%	99.9%	100.0%
2031	R13	92.1%	85.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.7%	100.0%	100.0%	92.3%	100.0%	88.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2032	R14	92.6%	86.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.7%	100.0%	100.0%	93.3%	100.0%	89.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2033	R15	93.1%	87.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.7%	100.0%	100.0%	94.3%	100.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2034	R16	93.6%	88.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.7%	100.0%	100.0%	95.3%	100.0%	91.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2035	R17	94.1%	89.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.3%	100.0%	92.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2036	R18	94.6%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.3%	100.0%	93.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2037	R19	95.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.3%	100.0%	94.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2038	R20	95.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.3%	100.0%	95.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2039	R21	95.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2040	R22	95.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2041	R23	95.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2042	R24	95.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2043	R25	95.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2044	R26	95.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2045	R27	95.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2046	R28	95.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2047	R29	95.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2048	R30	95.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2049	R31	95.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表 3-8 事業別・年度別水洗化率の設定

単位：人

西暦	和暦	公共下水道事業			農業集落 排水事業	小規模集合排水 処理施設整備事業	地域 下水道事業	合計
		片山津	大聖寺川	小 計				
2019	R01	8,120	18,750	26,870	4,456	48	548	31,922
2020	R02	8,136	18,945	27,081	4,520	49	548	32,198
2021	R03	8,154	19,130	27,284	4,589	49	548	32,470
2022	R04	8,172	19,313	27,485	4,651	50	548	32,734
2023	R05	8,190	19,494	27,684	4,715	50	548	32,997
2024	R06	8,207	19,673	27,880	4,780	51	548	33,259
2025	R07	8,224	19,850	28,074	4,843	51	548	33,516
2026	R08	8,241	20,026	28,267	4,905	52	548	33,772
2027	R09	8,257	20,200	28,457	4,970	52	548	34,027
2028	R10	8,273	20,372	28,645	5,006	53	548	34,252
2029	R11	8,288	20,542	28,830	5,037	53	548	34,468
2030	R12	8,304	20,711	29,015	5,064	54	548	34,681
2031	R13	8,318	20,877	29,195	5,083	54	548	34,880
2032	R14	8,333	21,042	29,375	5,098	54	548	35,075
2033	R15	8,347	21,205	29,552	5,114	54	548	35,268
2034	R16	8,361	21,366	29,727	5,129	54	548	35,458
2035	R17	8,375	21,526	29,901	5,140	54	548	35,643
2036	R18	8,388	21,469	29,857	5,150	54	548	35,609
2037	R19	8,392	21,388	29,780	5,159	54	548	35,541
2038	R20	8,361	21,307	29,668	5,168	54	548	35,438
2039	R21	8,330	21,226	29,556	5,178	54	548	35,336
2040	R22	8,298	21,145	29,443	5,186	54	548	35,231
2041	R23	8,267	21,064	29,331	5,195	54	548	35,128
2042	R24	8,236	20,983	29,219	5,203	54	548	35,024
2043	R25	8,204	20,902	29,106	5,212	54	548	34,920
2044	R26	8,173	20,821	28,994	5,212	54	548	34,808
2045	R27	8,142	20,740	28,882	5,212	54	548	34,696
2046	R28	8,110	20,659	28,769	5,212	54	548	34,583
2047	R29	8,079	20,578	28,657	5,212	54	548	34,471
2048	R30	8,047	20,497	28,544	5,212	54	548	34,358
2049	R31	7,999	20,394	28,393	5,212	54	548	34,207

注：R01は実績値

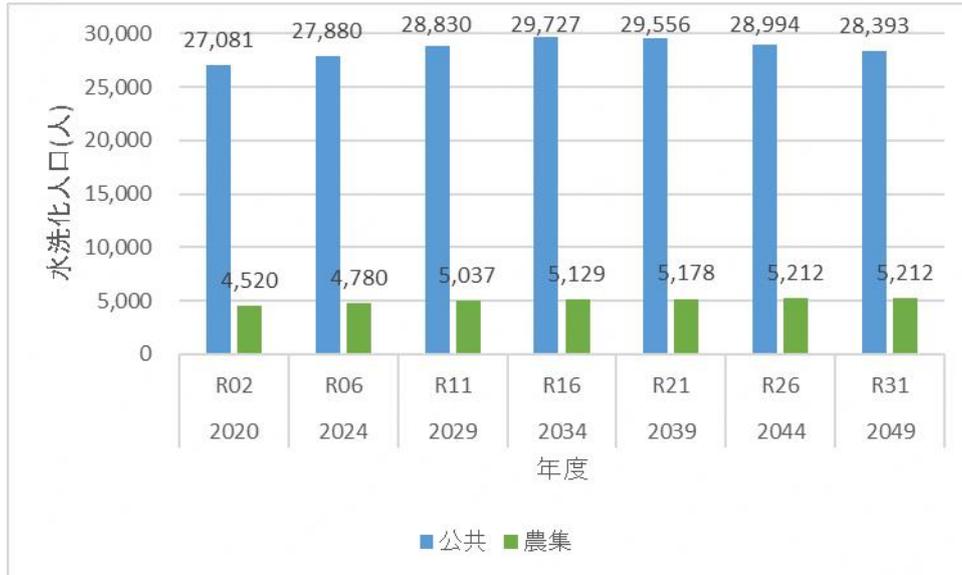


図 3-5 公共下水道事業及び農業集落排水事業の水洗化人口の見通し



図 3-6 小規模集合排水処理施設整備事業及び地域下水道事業の水洗化人口の見通し

(2) 有収水量

水洗化人口は減少するものの、水洗化率の向上により、有収水量は2035年までは増加傾向を見込んでいます。その後は、人口減少により有収水量は減少すると想定されます。

表 3-9 年度別有収汚水量の見通し

単位：千 m³

西暦	和暦	公共下水道事業			農業集落 排水事業	小規模集合排水 処理施設整備事業	地域 下水道事業	合計
		片山津	大聖寺川	小 計				
2019	R01	1,469.0	2,778.0	4,247.0	374.4		52.2	4,673.6
2020	R02	1,456.3	2,767.9	4,224.2	391.9	4.2	51.8	4,672.1
2021	R03	1,459.6	2,794.9	4,254.5	397.9	4.2	51.8	4,708.4
2022	R04	1,462.8	2,821.6	4,284.4	403.2	4.3	51.8	4,743.7
2023	R05	1,466.0	2,848.1	4,314.1	408.7	4.3	51.8	4,778.9
2024	R06	1,469.1	2,874.2	4,343.3	414.5	4.4	51.8	4,814.0
2025	R07	1,472.1	2,900.1	4,372.2	419.8	4.4	51.8	4,848.2
2026	R08	1,475.1	2,925.8	4,400.9	425.3	4.5	51.8	4,882.5
2027	R09	1,478.0	2,951.2	4,429.2	430.8	4.5	51.8	4,916.3
2028	R10	1,480.9	2,976.3	4,457.2	434.1	4.6	51.8	4,947.7
2029	R11	1,483.6	3,001.2	4,484.8	436.8	4.6	51.8	4,978.0
2030	R12	1,486.4	3,025.9	4,512.3	439.1	4.7	51.8	5,007.9
2031	R13	1,488.9	3,050.1	4,539.0	440.6	4.7	51.8	5,036.1
2032	R14	1,491.6	3,074.2	4,565.8	441.9	4.7	51.8	5,064.2
2033	R15	1,494.1	3,098.1	4,592.2	443.3	4.7	51.8	5,092.0
2034	R16	1,496.6	3,121.6	4,618.2	444.6	4.7	51.8	5,119.3
2035	R17	1,499.1	3,144.9	4,644.0	445.5	4.7	51.8	5,146.0
2036	R18	1,501.5	3,136.6	4,638.1	446.4	4.7	51.8	5,141.0
2037	R19	1,502.2	3,124.8	4,627.0	447.2	4.7	51.8	5,130.7
2038	R20	1,496.6	3,113.0	4,609.6	447.9	4.7	51.8	5,114.0
2039	R21	1,491.1	3,101.1	4,592.2	448.8	4.7	51.8	5,097.5
2040	R22	1,485.3	3,089.3	4,574.6	449.5	4.7	51.8	5,080.6
2041	R23	1,479.8	3,077.5	4,557.3	450.3	4.7	51.8	5,064.1
2042	R24	1,474.2	3,065.6	4,539.8	451.0	4.7	51.8	5,047.3
2043	R25	1,468.5	3,053.8	4,522.3	451.8	4.7	51.8	5,030.6
2044	R26	1,463.0	3,041.9	4,504.9	451.8	4.7	51.8	5,013.2
2045	R27	1,457.4	3,030.1	4,487.5	451.8	4.7	51.8	4,995.8
2046	R28	1,451.7	3,018.3	4,470.0	451.8	4.7	51.8	4,978.3
2047	R29	1,446.1	3,006.4	4,452.5	451.8	4.7	51.8	4,960.8
2048	R30	1,440.4	2,994.6	4,435.0	451.8	4.7	51.8	4,943.3
2049	R31	1,431.8	2,979.6	4,411.4	445.2	4.7	51.8	4,913.1

注：R01は実績値であり、農業集落排水事業及び小規模集合処理施設整備事業は、分校に集約している。

3-5. 下水道使用料の見通し

有収水量に直近5年間の1 m³当たりの使用料を乗じ、求めたものが表3-10です。有収水量と同様に2035年までは増加傾向を見込んでいますが、その後は人口減少により減少すると想定されます。

表 3-10 下水道使用料金の見通し

単位：千円(税抜)

西暦	和暦	公共下水道事業			農業集落 排水事業	小規模集合排水 処理施設整備事業	地域 下水道事業	合計
		片山津	大聖寺川	小 計				
2019	R01	192,799	362,668	555,467	53,624		6,828	615,919
2020	R02	191,503	360,381	551,884	52,398	562	6,832	611,676
2021	R03	191,937	363,896	555,833	53,199	562	6,832	616,426
2022	R04	192,358	367,372	559,730	53,908	575	6,832	621,045
2023	R05	192,779	370,823	563,602	54,644	575	6,832	625,653
2024	R06	193,187	374,221	567,408	55,419	588	6,832	630,247
2025	R07	193,581	377,593	571,174	56,127	588	6,832	634,721
2026	R08	193,976	380,939	574,915	56,862	602	6,832	639,211
2027	R09	194,357	384,246	578,603	57,597	602	6,832	643,634
2028	R10	194,738	387,514	582,252	58,040	615	6,832	647,739
2029	R11	195,093	390,756	585,849	58,400	615	6,832	651,696
2030	R12	195,462	393,972	589,434	58,707	628	6,832	655,601
2031	R13	195,790	397,123	592,913	58,909	628	6,832	659,282
2032	R14	196,145	400,261	596,406	59,082	628	6,832	662,948
2033	R15	196,474	403,373	599,847	59,269	628	6,832	666,576
2034	R16	196,803	406,432	603,235	59,443	628	6,832	670,138
2035	R17	197,132	409,466	606,598	59,563	628	6,832	673,621
2036	R18	197,447	408,385	605,832	59,684	628	6,832	672,976
2037	R19	197,539	406,849	604,388	59,790	628	6,832	671,638
2038	R20	196,803	405,313	602,116	59,884	628	6,832	669,460
2039	R21	196,080	403,763	599,843	60,004	628	6,832	667,307
2040	R22	195,317	402,227	597,544	60,098	628	6,832	665,102
2041	R23	194,594	400,691	595,285	60,204	628	6,832	662,949
2042	R24	193,857	399,141	592,998	60,298	628	6,832	660,756
2043	R25	193,108	397,605	590,713	60,405	628	6,832	658,578
2044	R26	192,385	396,055	588,440	60,405	628	6,832	656,305
2045	R27	191,648	394,519	586,167	60,405	628	6,832	654,032
2046	R28	190,899	392,983	583,882	60,405	628	6,832	651,747
2047	R29	190,162	391,433	581,595	60,405	628	6,832	649,460
2048	R30	189,413	389,897	579,310	60,405	628	6,832	647,175
2049	R31	188,282	387,944	576,226	59,523	628	6,832	643,209

注：R01は実績値であり、農業集落排水事業及び小規模集合処理施設整備事業は、分校に集約している。

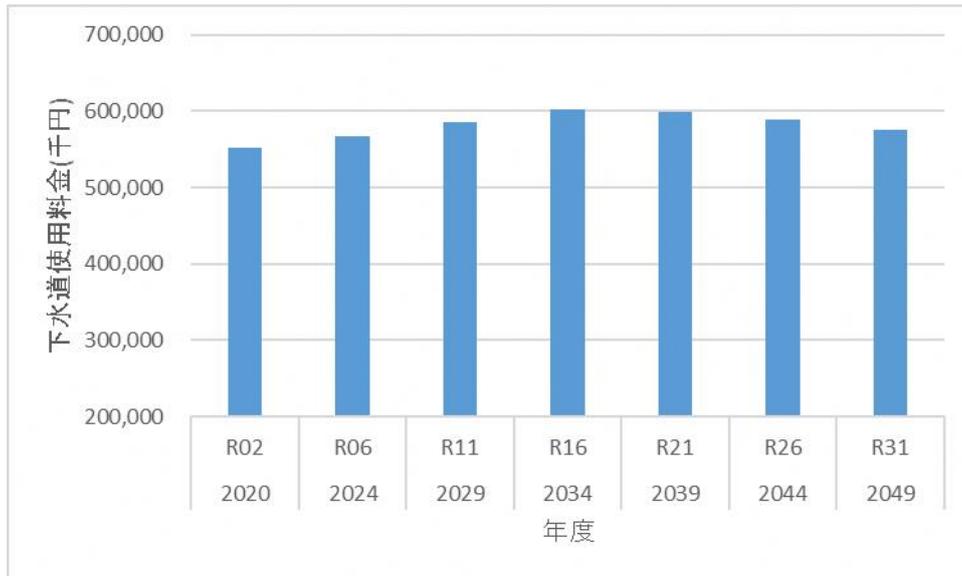


図 3-11 公共下水道事業における下水道使用料金の見通し



図 3-12 農業集落排水事業における下水道使用料金の見通し

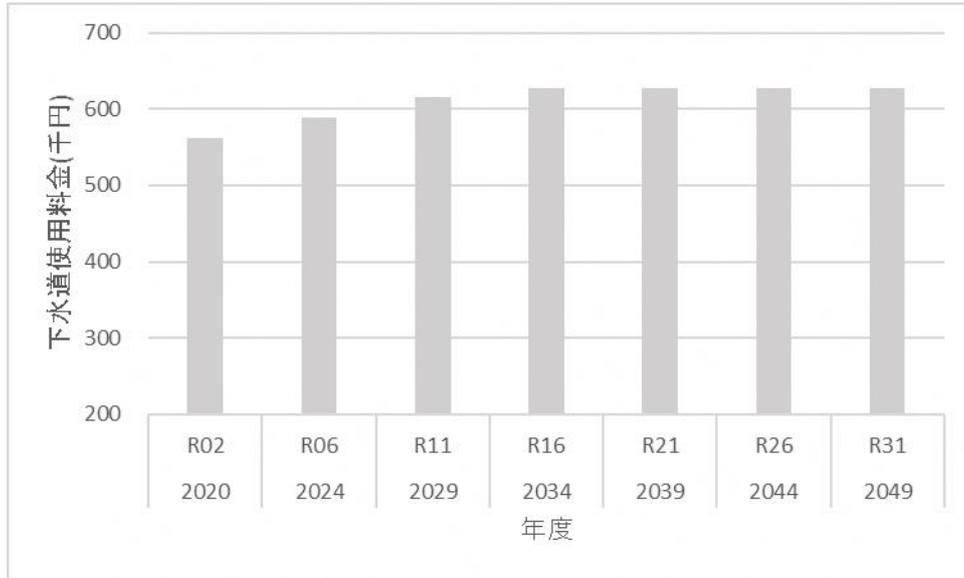


図 3-13 小規模集合排水処理施設整備事業における
下水道使用料金の見通し



図 3-6 地域下水道事業における下水道使用料金の見通し

4. 経営の基本方針

本市の下水道事業においては、今後は人口減少及び有収水量の減少等の社会変化に対応した事業経営が求められています。したがって、持続可能な下水道事業経営を推進していくため「新「加賀市」まちづくり計画」及び「第2次加賀市総合計画」をはじめとし、本市下水道事業に係る関連計画を上位計画として、以下の基本方針に基づき経営健全化に努めます。

【経営の基本方針】

豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくりの役割を担う下水道サービスを、持続的かつ安定的に提供するための経営基盤を強化します。

- 効果的・効率的な改築更新
定期的なストックマネジメント計画や機能保全計画の見直しを行い、下水道施設の機能を維持すべく、効果的・効率的な改築更新を行います。
- 普及促進・水洗化率の向上
公共下水道事業においては、未整備区域においては、順次、下水道整備を行います。また、水洗化率についても、さらなる向上を目指します。
- 下水道事業の適切な運用
平成29年4月1日に、地方公営企業法の適用を受けており、より適切な事業運営を図り、透明性を持った事業経営を行います。

5. 投資・財政計画の見直し

収益的収支では、耐用年数が経過した有形固定資産の資産価値が減少し、減価償却費や支払利息が減少していくため、黒字化を想定しています。

資本的収支では、償還額が多額であり、資本的収支の不足が続きます。現状では、企業債残高は減少していき、償還額も減少するため、資本的収支の不足分は減少傾向になりますが、不足を補う内部留保資金を充ててもなお不足した場合は、財源不足を補填するための一般会計補助金

(基準外繰入金)の収入を見込まざるをえません。また、浄化センターの統合が計画されているため、統合事業開始後、企業債残高が増加し、その償還が始まる頃には、資本収支不足額が増加する予測です。このような中、一般会計からの繰入金は下水道事業を継続するための方策の一つではありますが、内部留保資金を増加させるために下水道使用料の改定を検討しなければなりません。使用料改定については、今後の社会情勢の変化、本市の財政状況を見極め、慎重に検討していきます。

6. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

(1) PDCA サイクルの実施

PDCA サイクル (Plan : 計画、Do : 実施、Check : 検証 Action : 見直し・改善) の考え方に基づき、実績や進捗状況を評価・分析し、見直しを行いながら経営の効率化や持続可能な事業の運営を図っていきます。

(2) 経営戦略の見直し

上記 PDCA サイクルにより定期的な進捗管理を行い、問題点や改善点等の新たな課題への対応を反映しながら、概ね5年ごとに見直しを行います。

次回見直し時期：令和7年度

